

子どもたちが未来に向かう原動力になる「好き」が見つかる授業を提供  
**無料オンライン講座「進研ゼミこども大学」が 7/26 に開講**  
**生徒代表として「フワちゃん」「劇団ひとり」の出演が決定**

- 進研ゼミの「まなびの手帳アプリ」(無料)にて、小学生・中学生・高校生を対象に提供
- 「フワちゃん」「劇団ひとり」も出演する TVCM も全国で順次放映を開始

株式会社ベネッセコーポレーション(本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：小林 仁、以下：ベネッセ)は、長期化するコロナ禍の中で、実体験を通じた学びの機会が減少し、学びへのモチベーションが低下している子どもたちを応援するため、小学生・中学生・高校生を対象にした無料の新サービス「進研ゼミこども大学」サマースクールを7月26日(月)より開講いたします。本サービスは、進研ゼミの「まなびの手帳アプリ」(無料)から、どなたでもご受講いただけます。

「進研ゼミこども大学」の開講にあたっては、フワちゃんと劇団ひとりさんに生徒代表として授業動画に出演していただき、先生へ鋭い質問を投げかけたり、授業内容を掘り下げたりするなど、思わず引き込まれてしまう授業シーンを創り上げていただいています。さらに、お二人には全国でオンエアされる TVCM「こども大学開講」篇にもご登場いただきます。

7/26 開講！無料のオンラインスクール  
**進研ゼミ こども大学**



**みらい学部**



**まなび学部**

**本施策の背景**

AI・ドローンなどの先端テクノロジーが急速に進化し、実用化スピードも加速する中で、私たちの暮らしと社会は想像を超える速さで変化しています。加えて、長期化するコロナ禍の中、「子どもたちの成長につながる実体験を通じた学びの機会」が減少しています。その結果、子どもたちは自分の「好き」や「やりたい」を見つけ、未来に向けての夢や可能性をふくらませることが、容易ではなくなっています。そのような社会課題を受け、無料オンライン講座「進研ゼミこども大学」の開講を決定しました。「進研ゼミこども大学」では、社会と子どもたちをつなぎ、最先端に触れる授業や、学びの「おもしろさ」を発見する授業を受講でき、講座の中で子どもたちが未来に向かう原動力になる「好き」や「やりたい」を見つけるきっかけを提供していきます。

「進研ゼミこども大学」は、

- ・自分の「好き」や「やりたい」が見つかる授業を提供する「みらい学部」(生徒代表：フワちゃん)
- ・普段の「教科学習」と「世の中」のつながりがわかる授業を提供する「まなび学部」(生徒代表：劇団ひとり)

という2つの学部を用意し、夏休み期間の「サマースクール」では、平日は毎日1授業を配信していく予定です。

## 「進研ゼミこども大学」サービス概要

### ■ご利用方法

以下の URL より、「まなびの手帳アプリ」(無料)をダウンロードください。  
(<https://benesse.jp/kyouiku/kyouikukaikaku/lp/>)

### ■提供期間

サマースクール: 7/26(月)~8/27(金)の平日毎日

通常授業: 9月以降は毎週末に最新授業を配信予定

※内容、期間は変更になる可能性があります。

### ■対応端末

iOS13 以上、Android 8.0 以上タブレット・スマートフォン(一部非対応の端末があります)

※2021年3月末時点の情報です。最新の情報はアプリストアでご確認ください。

※動作推奨環境においても、OSのバージョンとご利用の端末の組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

※海外ではご利用いただけません。ご了承ください。



## 「みらい学部」授業内容について

### ■授業紹介(初回)

#### フワちゃんと学ぶ！AI ロボが作る未来

「AI ロボットって何ができるの?」「どうやって動くの?」子どもたちの純粋な疑問を、フワちゃんと一緒に開発者の方にインタビュー。家族型ロボット「LOVOT[らぼっと]」開発者の林要さんを先生として迎え、未来の「人とロボットの関わり」など、未来のロボットの展望まで知ることができる特別授業!

先生: 林要先生 (GROOVE X 株式会社 CEO)

放映日: 7/26・27・28 (全3回)

※配信日は変更になる可能性があります。



### ■生徒代表

#### フワちゃん

2018年 YouTuber デビュー。新語・流行語大賞、ギャラクシー賞ともに自身の名前「フワちゃん」で受賞! TVで活躍する傍ら、自身のYouTubeチャンネルの映像編集やアートデザイン、コラムの執筆など、クリエイターとしての多彩な一面も注目を集めている。

#### 撮影エピソード (メイキング映像: <https://youtu.be/tudYzs9cadQ>)

初回の授業は、家族型ロボット「LOVOT」を製造・販売する GROOVE X 株式会社にて撮影を実施しました。撮影場所となったミュージアムでは沢山の「LOVOT」たちが撮影スタッフを出迎えていただき、多くのスタッフが思わず笑顔になってしまうほど癒されました。

「進研ゼミこども大学」の生徒代表ということで、セーラー服をイメージしたオリジナルの衣装で撮影に臨んだ「フワちゃん」も、今回が「LOVOT」初体験ということで「LOVOT」の可愛いぐさや学習能力の高さに感激した様子で、大興奮での撮影となりました。また、「LOVOT」のお洋服をチョイスする際には、ご自身の衣装と同色のグリーンを基調に、様々なアイテムを取り入れながら真剣にチョイスすると、林要先生や共演しているこども達から「フワちゃんにそっくり!」と大好評でした。授業撮影後のインタビューでは、フワちゃん節がさく裂するなど、終始楽しい撮影現場となりました。



## 「まなび学部」授業内容について

### ■ 授業紹介(一部)

#### 【国語】 冒険と読書って共通点があるってホント？

北極冒険家でもあり、本屋の経営者でもある荻田泰永先生が、合計 16 回の北極冒険でのエピソードやこの授業でしか聞けない裏話、冒険と読書の意外な共通点、夏に読みたいオススメの本を紹介します。

先生：北極冒険家 荻田泰永先生

放映日：8/2・3・4 (全 3 回)

※配信日は変更になる可能性があります。



#### 【理科】 学校で習う理科の知識で無人島サバイバルできるってホント？

ある日、無人島に流されてしまった…！生き抜くために必要な「水」や「火」を確保するためにどうすればいいかを、劇団ひとりさんと先生といっしょにクイズや実験に取り組みながら学びます。

先生：「進研ゼミ高校講座」理科編集責任者 田邊明人先生

放映日：7/29・30 (全 2 回)

※配信日は変更になる可能性があります。



### ■ 生徒代表

#### 劇団ひとり

お笑い芸人としてデビュー後、作家・司会者・俳優・映画監督として活動。デビュー小説『陰日向に咲く』は 100 万部を超えるベストセラーに。現在は多数のテレビ番組・ラジオで活躍中。プライベートでは小学生を含む 3 児の父でもある。

#### 撮影エピソード (メイキング映像 : [https://youtu.be/X0LS\\_gYsrIk](https://youtu.be/X0LS_gYsrIk))

生徒役にふさわしいカジュアルな装いでスタジオに登場にした劇団ひとりさん。開口一番、大きな声で元気よく挨拶をされると現場の雰囲気は一瞬にして明るくなりました。授業の撮影が始まると、講師との掛け合いも見事にこなし、鋭い質問を投げかけたり、大きなリアクションを見せたりと、ご自身も楽しく授業に参加している様子でした。また撮影の合間に共演者の子ども達に声をかけ会話する姿は、父親のように優しい側面を垣間見せるシーンもありました。授業撮影後のインタビューでは、今回の授業に繋がる楽しいエピソードもお話頂き、終始和やかな撮影現場となりました。



**■新CM情報**

- ・名称 : 「こども大学開講」篇
- ・出演 : フワちゃん、劇団ひとり
- ・公開日 : 7/22 より順次全国 OA
- ・YouTube : [https://youtu.be/hawF5Vf\\_2Rc](https://youtu.be/hawF5Vf_2Rc)

**「進研ゼミこども大学」責任者 宮木良治からのコメント**

コロナ禍 2 回目の夏休みがいよいよ始まります。「学びにつながる体験の機会が減り、お子様の成長が不安」という声が昨年より増えている状況を受け、「進研ゼミこども大学」を開講いたします。今回のサマースクールの授業では、社会課題の解決に向けたサービス開発をされている方や研究者に、幅広くご登場いただきます。先生から教えてもらう新しい視点や、「好きなこと」を追求する姿勢、「やりたいこと」を実現していく働き方や生き方などを通して、お子様が自分の「好き」や「やりたい」を考えるきっかけとなりましたら幸いです。「進研ゼミこども大学」は、どなたでも自由に参加いただけます。ぜひ夏休みにご活用ください。

**本ニュースレターに関するお問い合わせ先**

株式会社ベネッセホールディングス ブランド・広報部 宮本・萩澤・濱野・齋藤

TEL: 042-357-3658 FAX: 042-389-1757

## (参考資料)「進研ゼミこども大学」生徒代表 フワちゃん・劇団ひとりインタビュー

### ■フワちゃんインタビュー

Q：CM撮影を終えて感想を教えてください

フワちゃん（以下、フワ）：今日は教室を飛び出してロボットとふれあう授業をしたんだけど、これがめちゃくちゃかわいかった。

今までロボットっていうと、ウーンガシャンみたいなやつとか、工場でガシャガシャガシャンって運んでくれるみたいなイメージがあったんだけど、今日、私たちが学習したロボットは、みんなと心でふれあうロボットで、それがすごくかわいかったんだよ。かわいかった。

何を学んだというか。

だから、そんな新しいロボットがどのようにできていたり、それがどんなふう動いていたり、そういうことを細かく学んでいて、とても勉強になったし、開発者の方がどのようにしてロボットを目指していくかという熱い話も聞けちゃって、盛りだくさんで楽しかった！

Q：今日は、いつもテレビ出るとときと衣装違う感じがするのですが、「今日用」のこだわりはありますか？

フワ：これは飛びきりのセーラー服をイメージして着ただけだけど、フワちゃんの秘密をあなたにだけ教えてあげる。

行くよ。これ、リボンのように見えるでしょ？実はボタンで、デインディディン〜って、つながっていました。絶対に、みんなに言わないで、恥ずかしいから。秘密だよ。

（Q：それは今日限定ということですか？）

そう、今日のために衣装さんがつくってくれたの、かわいいでしょ。えへ。そうなの。留まらなくなっちゃった。おなかもガンアキなんだから。

Q：みらい学部の生徒ということで参加されましたけれども、フワちゃん自身の学生時代の夢といますか、なりたかったものはありますか？

フワ：私は、小学校のときは「ミニモニ。」になりたくて、中学校になってからはベッキーになりたくて、みたいな感じで、とにかく芸能人になりたかったんだ。小学生の頃は「ミニモニ。」になりたくて、中学生と高校生のときはベッキーになりたかった。どっちも会ったことある。自慢。

（Q：では自身の夢、叶ったってことですかね？）

そういうことになるよね。だから、みんなに言いたいのは、何かひとつの夢になりたかったとしても、私は「ミニモニ。」にはなれていないし、ベッキーにもなれていないけれども、自分のやり方で YouTuber というものからアプローチして、今はテレビに出られて、「ミニモニ。」だったり、ベッキーみたいな存在になれているでしょ。だから、そういう自分なりのやり方でいろいろな夢のつかみ方があるなということは、みんなにも学んでほしいなと思いました。

Q：本日の林要先生(GROOVE X CEO 代表取締役)も、印象に残る先生だったと思いますが、フワちゃん自身が、学生時代に印象に残ってる先生はいますか？

フワ：あ！いるよ。カズオ先生といって中2のときの担任で、すごくやさしくて、かわいくて、私も「カズオ」って呼んでいたくらいなんだけど、いろいろ仲もよかったけど、迷惑もかけちゃったこともあって。でも、こうやってテレビに出られるようになってから、恩返ししたいと思って、カズオ先生を料亭に呼んで、そこで私がご飯をごちそうするというテレビのロケをしたの。

そうしたら、カズオ、私より食レボがうまくて、バンバン笑いをとって、ちょっと悔しかった。中学のとき、あんなにあれだったのに。嫌だった。

（Q：恩返しできて良かったですね。）

中学のときにお世話になった先生と、大人になって再会するというのが一つの夢だったから、今の職業だからこそ、それができたことなのかなとも思うし、すごくうれしい。カズオ大好き。カズオ、大縄跳びがほかの生徒よりうまかった（笑）

Q：本日は「未来のテクノロジー」を実際に体験しましたが、フワちゃんが実現したい未来を教えてください。

フワ：私が毎日欲しいと思っているのは、空についている屋根と、勝手に寝転がっていても進んでくれるエスカレーター。

私が総理大臣になったら全税金をそこにぶち込んで、空に屋根をつくる。そうしたら、雨の日でも外で遊べるでしょ。そして、眠くなって学校に行きたくないときも、勝手にエスカレーターが連れていってくれるから、そうなってほしいと思う。

（Q：世間から批判が来たらどうします？）

「ごめんね」と言って辞めるかも、信念「な（無）」！でも、いろいろ、前に聞いたことがあるのは、人間がこうなったらいいなとか、こんなのがあったらすごいなって思っていることって100パーセント実現できるんだって。

だから、いつかタイムマシンもできると思うし、そういうすごくワクワクすることがどんどん起こってほしいから、なるべく長生きしたいよね。

リアモーターカー絶対に乗りたい、長生きして。

Q：今後の意気込みを一言いただけますか？

フワ：やっぱり教室だけでは学べないこともいっぱいあると思うから、こうしていろいろな所に飛びだして、フワちゃんもいろいろなことを学んでいきたいと思います。気合いの側転だよー。ビューン。バイバーイ！

## ■劇団ひとりさんインタビュー

Q：CM撮影を終えて感想を教えてください

劇団ひとりさん（以下、劇団）：子ども向けの内容と聞いていたので、だいたいのは知ってるんだろうなと思ったんですけど、だいたいのことがあんまりよく知らない情報ばかりで、大人でも結構「なるほど、ほう…」と、うなるような。そういう授業が盛りだくさんで、それでいてあんまり小難しくなく楽しく学べました。

Q：「こども大学」の生徒として参加されましたが、学生時代に印象に残っている先生はいますか？

劇団：僕、高校のときの先生ですごく印象深くて。その先生、理科の先生だったんですけど、なぜ学ばなきゃいけないのかっていうのを、唐突にお話し始めたことがあって。学校で習うことなんか、将来99%は使わないってところから言い始めるんですね。確かに、ああ、そうだな、なんでそんなこと勉強しなきゃいけないのかなってなったときにね、今、みんなの目の前に机があると。その机の上に立ってみろって言われたら、ちっとも怖くない。立てるだろ？と。

ただ、これがもし上空100メートルだとしてみる。って言うんですよ。上空100メートルで、あの机の上に立ってって言われたら怖いじゃないですか。学びってというのはその机を周りに増やしてことなんだと。もし、そこに机が何十個とあったら、例え立つ場所は1つの机かもしれないけど、不安がなくなるだろと。学びってというのは、そういうことなんだって言って。いいなあって思ってます。

僕は結構感動したんですよ。ああ、学びってそういうことなんだ。使う、使わないじゃなくて、ゆとりとかね、そういうことのためにあるんだなっていう。

Q：実際にその言葉を聞いてから増えましたか？

劇団：机が？ 実際の机の話してるんじゃないのよ。

Q：いえ、想像としての机です

劇団：想像としての机？ そりゃそうですよ。やっぱり、何かほんとに自分の、特に僕の特異な仕事でね、使うものって、ごくわずかかもしれないけど、そのときにいろいろ学びがあって、広い視野であると、そのたった1つのことでも、いろんな角度から見られることができますからね。はい。実際の机の話してるわけじゃないですよ、さっきから僕は。例え話ですからね。もうちょっとうまく話せるように頑張ります。

Q：授業では冒険のテーマもありましたけれども、これまでの人生で、この経験は冒険だったなみたいな経験はありますか？

劇団：そうですね、この世界に飛び込んだのも冒険っちゃ冒険だけど。ちっちゃな冒険でいうと、2～3年前かな。

千葉で、家族でドライブしてたときに、「子犬あげます」って段ボールに書かれた文字があって、通り過ぎて、「子犬あげますって書いてなかった？」って戻って。そしたら、7～8匹、子犬がいたんですけど、それをもらってきたっていう冒険。ミックスなんですよ。だから、どんなふうに分かんなかったんですけど。最初はちっちゃいじゃないですか。どんどん大きくなってきて、あとでDNA検査みたいなのできるんですよ、ワンちゃんってね。調べたら、ドーベルマンのミックスだったんですよ。どおりで、でかいわけだと納得しましたけど。かわいいには変わらないんですけどね、うん、あれは冒険でした。はい。

Q：授業の際に無人島に持っていくなら、「辞書」とおっしゃっていましたが、カッコ良さを抜きにしたら何をもって行きたいですか？

劇団：辞書はね、カッコいいですからね。そんなときにも、おまえは言葉を求めるのかってのはね。

カッコよさを…、えっ、抜きで？

僕、でもね、この無人島に何を持っていくかってときに、ナイフって答える人間にはなりたくないんですよ。ナイフとかライターとか、そういう

現実的な答えを言う人間には絶対なるまいと思ってるんですよ。だって、無人島に行くことなんか無いのに、何、そんな現実的なやつ言ってんの？ っていうのになるじゃないですか。だから、それは絶対に答えないですね、僕は。

だから、そうですね、うーん、クラブトンの CD。カッコいいから。

僕は、カッコいいと思われないで、「おまえ、そんなときにもクラブトン？」っていう。普段、クラブトン聞かないのにね。

あとは、ギターとかハーモニカとか、そういうことになっちゃいますね。うん。

ほんとはナイフ。

ほんとはナイフだけど、それは絶対に答えないようにしてます。